

\* 「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」（ローマ8：28）先ず2017年の古河教会を振り返ってみよう。数えきれない恵みがあった。個人的にも恵みにあふれていた。しかし、平和とは真逆の、疑いや争いや相互不信が世界に、日本に、また自分の近辺にもあったことだろう。困難や悲しみもあった。しかし、神の恵みはそのようなものに打ち消されるものではない。もっと広いもの。神は「神を愛する人々」に「益」を与えてくださる。この「益」は先ず「神の益」であることを覚えたい。神は御心に沿って私たちに働いてくださる。それは私たちの目には悪いことと思われることでも神のご計画の中で起こっていること。すべてのわざが神によってなされ、トータルで「益」なのである。「神の益」が「人の益」「自分の益」と一致する時、私たちはすべてが神の恵みであると理解することができる。だから、神を信じない人や、神に従って歩んでいない人や、神に敵対している人は、当然すべてが益であるとは思えない。

\* 「なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです。（ローマ8：29）私たちは御霊によって御子の形に似せて魂の根本が変えられた。「キリストにあって」あるいは「キリストによって」という言葉のように、キリストが私と一体になって闘い守られている。すべては「キリストにある恵み」であると言える。

「では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましよう。」（8：31～32）私たちは、患難、苦しみ、迫害、危険等々、すべての敵対するものに打ち勝つことができる。それは、死さえも打ち勝ってよみがえられたイエス・キリストが全面的に私たちの味方になり、闘ってくださるからである。

「救い主イエスとともに行く身は 乏しきことなく恐れもあらず」と歌うファニー・クロスビーの人生はまさに「物事すべてを良きになしたもう」イエス・キリストとともに歩んだ人生であった。恵みはキリストにある。キリストは私の救い主であり、希望であり、光である。キリストから離れては、恵みはない。

